

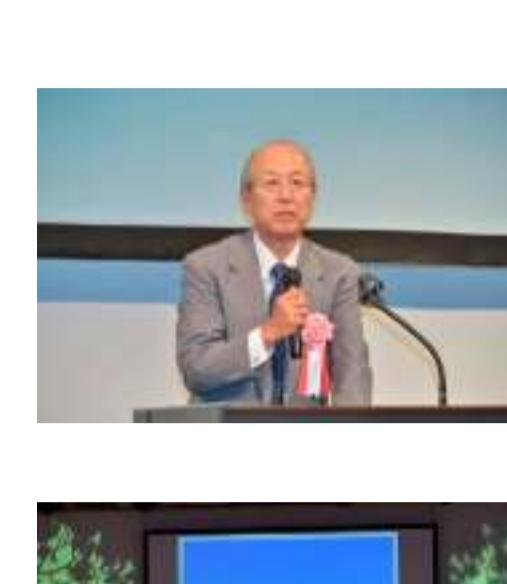
## 協議会の活動

## 活動紹介

## 「新しい東北」フォーラムin仙台を開催しました。

平成27年10月12日（月）に、宮城県仙台市のせんないメディアテークで「新しい東北」フォーラムin仙台を開催しました。当日は、せんないメディアテークの開催オープニングスクエアでの表彰式やリレートーク、7箇所タジオシアターにおいて「新しい東北」シアター、「新しい東北」官民共同PR事業による特別企画と展示、「新しい東北」シアターを行いました。

開催概要是こちら  
東北では、震災復興に向けて多様な主体（若者、女性、企業、NPO・自治体等）が連携して「コミュニケーションの形成」や「産業・生産の再生」など様々な分野で、震災前に見られなかった「新たな挑戦」が行われています。今回のフォーラムでは、「東北で進む『新たな挑戦』」をメインテーマとして、「新たな挑戦」に取り組む方々をスピーカーにお迎えした「新たな挑戦」リレートーク、「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2015の表彰式や、「新しい東北」官民共同PR事業による特別企画と展示、「新しい東北」シアターを行いました。



「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2015表彰式では、高木復興大臣の挨拶（大鹿復興官代理）に続き、ビジネス部門受賞の17件（大賞1件、優秀賞6件、企業賞9件）の表彰とアイデア部門受賞者の紹介を行いました。  
表彰・紹介に先立ち、高木復興大臣（大鹿復興官僚官代理）からは、「引き継ぎ住まいの再建の活性化や産業・生産の再生などに取り組んで、一刻も早い復興の実現を目指していく」、「受賞された方々の取組は創造的かつ創造的な素晴らしいものばかり」、「東北から『新たな挑戦』がたくさん生まれ、我が国の地方創生のモデルとなる『新しい東北』が実現することを期待しています」と挨拶がありました。  
ビジネス部門の表彰では、受賞者を代表して、大賞に受賞した株式会社バンダイファクトリー高橋社長から「働くことが幸せ、仕事をあることが幸せ、楽しいということを伝えたく今までやってきた」と「その頑張りが評価されたようで、大賞を受賞できて嬉しい」といった挨拶がありました。



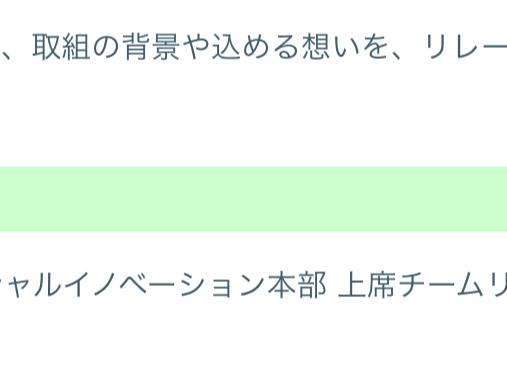
ビジネス部門企業賞の表彰では、本企画にてご協賛いただいたアリストヤマ株式会社、株式会社KDDI総研、株式会社ジーイティービー（JTB）、損害保険ジャパン日本興和株式会社、野村ホールディングス株式会社、東日本電信電話株式会社（NTT東日本）、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）、丸紅株式会社、株式会社JXエネルギーグループの各社から受賞者に目録が贈呈されました。  
アイデア部門受賞者紹介では、紹介に先立って協賛のパナソニック株式会社より挨拶をいただきました。  
また、表彰式後では、協賛各社と受賞者の記念撮影を行いました。記念撮影の後では、協賛各社と受賞者の間で受賞内容について意見交換がなされるなど、表彰式は大いに盛り上がりました。



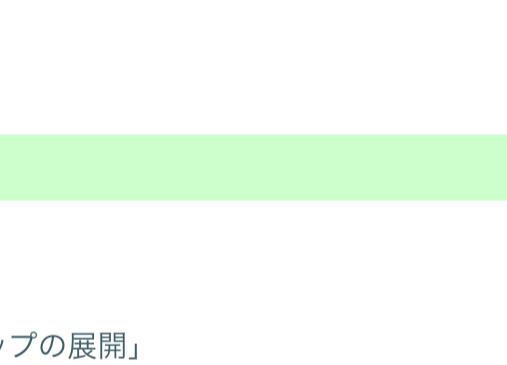
ステージで行われた「新たな挑戦」リレートークでは、冒頭に、聞き手の公益財団法人青柳 光昌氏から「新しい東北」とは何かということについてお話をいただき、続いてアリストヤマ株式会社 大山 健太郎氏から「東北の強みを生かす経営」というテーマで講演が行われました。  
リレートークでは、コミュニケーションが生産や産業・生産の再生など、様々な分野で「新たな挑戦」に取り組まれている10組のスピーカーに登壇いただきました。取組の背景や込める想いを、聞き手である公益財団法人日本財團の青柳様とのトーク形式でお伝えいたき、会場とスピーカーの方の想いなどを共有しました。



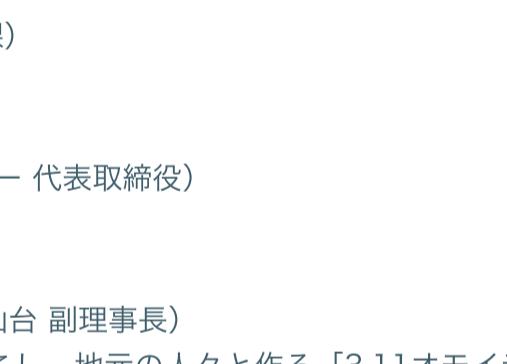
7箇所タジオシアターでは、「新しい東北」官民共同PR事業による特別企画として「東北の当と前」を、「全国の面白い」に変える。東北限定!日限りの参加型ワークショップ」と題した2つの企画（「東北ライター塾」「Creative Summer Camp」）と、「新しい東北」シアターとして2本の映画を上映しました。



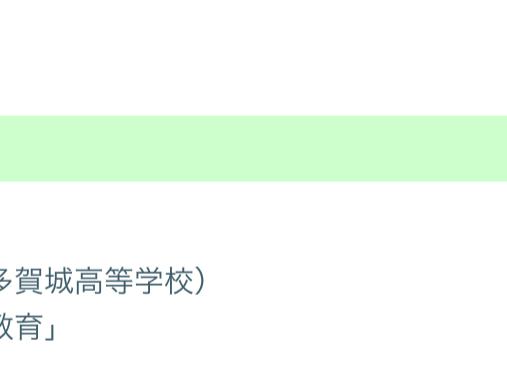
「東北ライター塾」では、ニュースサイト「しらべぇ」の編集者であるカハシ・マト氏を講師に迎え、「情報発信力で東北は変わる」というテーマで講演をいただきました。  
その後、「世界にも通用する究極のお土産」の出品事業者をゲストに迎え、トークセッションを通して、「商品にニュースペリューア付けていくには、どうすればいいのか」という点を分かりやすくご紹介いただきました。



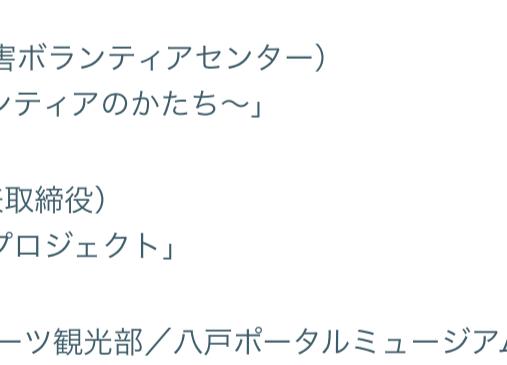
Creative Summer Campでは、「CM試写会・ジモト面白さ发掘クロストーク」と題してクリエイターの視点から地元の魅力を発掘・発信していく企画が行われました。「新たな東北の出で方」を30秒のCMで表現する「Creative Summer Camp 2015」の最終審査会で受賞したCMをご覧いただき、同CMを作成した29歳以下の若手クリエーターのチームの方たちが作られた背景、秘証などを語っていました。後半は、東北新幹線の中島信也氏、銀河ライターの河尻享一氏と受賞チームのメンバーで「地元の魅力をどう引き取るか輝かせるか」というテーマのトークセッションを行った。地元を映像で見ることの必要性・意義などを再確認いただきました。



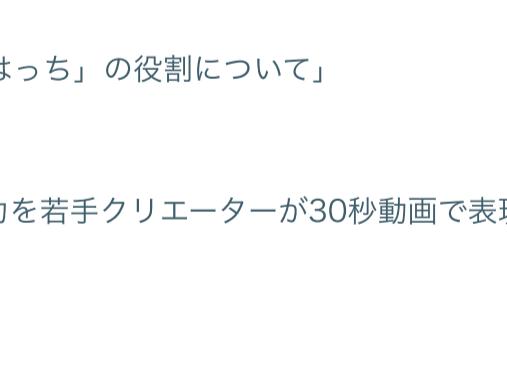
※my Japanで開催した「Creative Summer Camp 2015」は、全国から集結した若手映像クリエイターが30秒CMで「新しい東北」の作り方を制作・発表する合宿型映像制作プログラムです。



また、同じく「新しい東北」官民共同PR事業で行われた東北を代表するお土産を発掘する「コラスト」で世界に通用する究極のお土産「新しい東北の挑戦」にて、東北6県から募集があった496点の商品から10点を通過した12商品のうち、56点の商品が1位、7位に展示されました。東北の魅力的な商品が多く出展者の皆さんに見ていただけたことができました。なお、究極のお土産については、9月14日に東京で最終審査会が行われ、究極のお土産10品が選定されました。



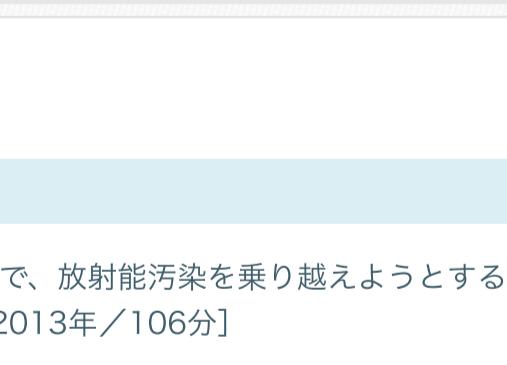
「新しい東北」シアターでは、福島県天栄村で放射能汚染を乗り越えようとする農家の姿を追った「天に栄える村」と仙台市立大町通り小学校の児童が震災当時の様子や思いを地域の方にインタビューして「木町の3.11～ふるさとへの想い」を上映しました。



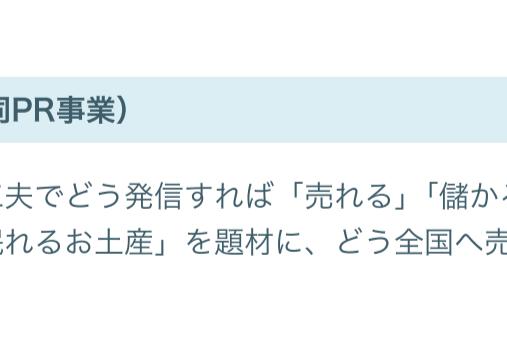
また、7階会議室a,bで、大学生・高校生向けのワークショップ「「新しい東北」復興ビジネスコンテスト 表彰式」と「東北ライター塾」を行いました。「東北からのメッセージ」というテーマのもと、被災地の状況を聞いて見ている大学生・高校生25名が参加し、今被災地で求められていることや、現地にいて感じる想いを盛り込んだ世代へ「東北からのメッセージ」をワークシップ形式で考えました。



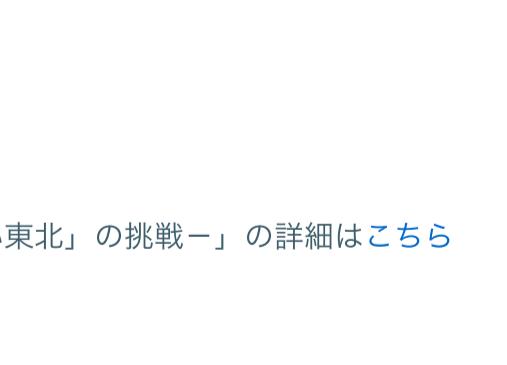
リレートークにご来場いただいたNPO法人wizの黒沢氏、一般社団法人ビースポーツ災害ボランティアセンターの山元氏にも、現地で新たな活動を行うアントスピーカーとして協力いただきました。



被災地からのメッセージとして今何を伝えたいか、白熱した議論を行った結果、



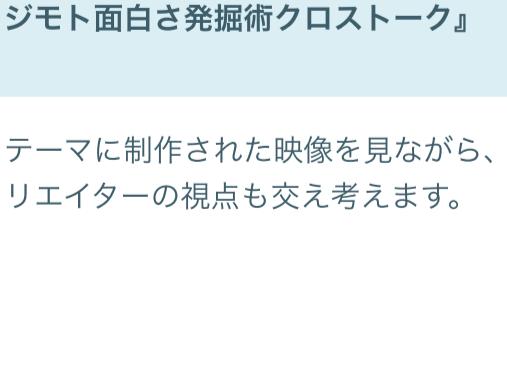
「東北の現状（いま）を知る。東北で未来（これから）を考える。さあ、共に！」



が「東北からのメッセージ」として決定されました。



最後には、1階オープンスクエアにて、来場者とリレートークスピーカー、ビジネスコンテスト受賞団体などとの懇親の場を設け、多くの方に参画いただきました。また懇親会の中で「復興支援オンライン」に参画した3名の大学生から発表がありました。若い世代に触発され、多様な来場者の皆様の間で懇親が見られました。



参考資料



## 開催概要

日時 平成27年10月12日（月・祝）12：30開始 17：00終了（予定）  
場所 せんないメディアテーク 1F オープンスクエア／7F スタジオシアター（宮城県仙台市青葉区春日町2-1）  
アクセスはこちら

## 協議会の活動

● 活動紹介

● 特集記事サイト

## 参考資料

フライヤー（「新しい東北」フォーラムin仙台）

プログラム（「新しい東北」フォーラムin仙台）

「新しい東北」フォーラム in 仙台

10.12 Mon せんない 7F 施設見学会

12:30-17:00

「新しい東北」フォーラム in 仙台

一斉で進む『新たな挑戦』

東北復興官庁

2015.10.12

東北復興官庁